

飛行機を「てんぷら油」で飛ばす!?

成田空港の燃料タンクに注目!

空港の仕事 飛行機に関する仕事 環境を守る仕事



飛行機が飛ぶためにはジェット燃料(航空燃料)の1つが必要です。でも「てんぷら油」で飛行機を飛ばすとは、どういうことなのでしょう? 成田空港に聞きました。

A 使用済みのてんぷら油などを原料にした「SAF」という燃料で飛行機を飛ばすんだ。成田空港でも SAF は使われているよ。



SAFは環境にやさしい航空燃料!

従来の化石燃料(石油など)を由来とするジェット燃料を使用した飛行機は、CO₂の排出量が問題でした。それに対して、てんぷら油などの植物を由来とする燃料「SAF」を使用した飛行機では、CO₂の排出量を最大約80%も削減できるので、解決策として注目されています。



SAFはこうやってつくる!

SAFは、使用済みのてんぷら油(廃食油)、とうもろこしやサトウキビ、古紙や木くず、家庭ゴミなどを原料にしてつくった燃料で、従来のジェット燃料にまぜて使います。

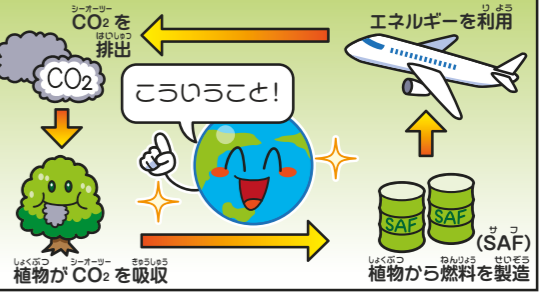
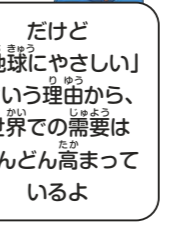


現在、ジェット燃料との混合率は50%までと決まっているよ

成田空港では、各航空会社に SAF の利用を推進するため、環境整備に積極的に取り組んでいる

SAFがエコな理由とは?

SAFの原料は主に植物由来です。SAFを使うとCO₂は排出するけれど、吸収も可能になります。つまり、SAFがエコな理由は「大気中のCO₂を増やさない」から。日本は2030年に燃料使用量の10%をSAFに置き換えることを目標にしています。



成田空港では、SAFの原料「スイートソルガム」を栽培しています!

現在、SAFの原料には廃食油がもっとも多く使われていますが、必要な量には足りていません。成田空港では、SAFの原料として、「スイートソルガム」という植物に注目して栽培をしています。将来的には栽培を拡大して、SAFの製造から利用までを地域全体で取り組んでいく方針です。



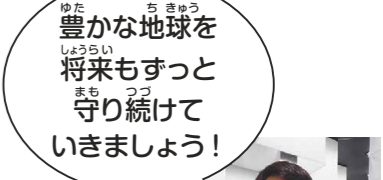
スイートソルガムは、茎に糖を蓄積するサトウキビのような作物で、高さは約5mにも成長する



成田空港は脱炭素化へ向けて2050年度までの目標を立てています!

成田国際空港株式会社 経営計画部サステナビリティ推進室 谷口愛佳さん(左) 給油事業部 大塚圭さん(右)

成田空港では、2050年度に空港全体から排出されるCO₂を、2015年度と比べて50%削減する目標を立てています。空港全体のCO₂のうち、航空機の運航によって排出されるものが、約6割を占めています。「SAF」は、こうした航空機の脱炭素化を効果的に進めるための重要な手段です。成田空港は、関係する企業と協力して、積極的に SAF を受け入れています。環境に配慮しながら空港を運営する、成田空港のサステナブルな取り組みに、これからもご注目ください!



(※自治体によって回収の有無など、ちがいががあります)